

学生と高齢者の集う商店街

teamまちクラの匠！ 井関なずな 梶谷 瑛佑 兵頭叶武
 藤原 拓海 宇都宮りお 小山穂純
 指導者 都築 果林



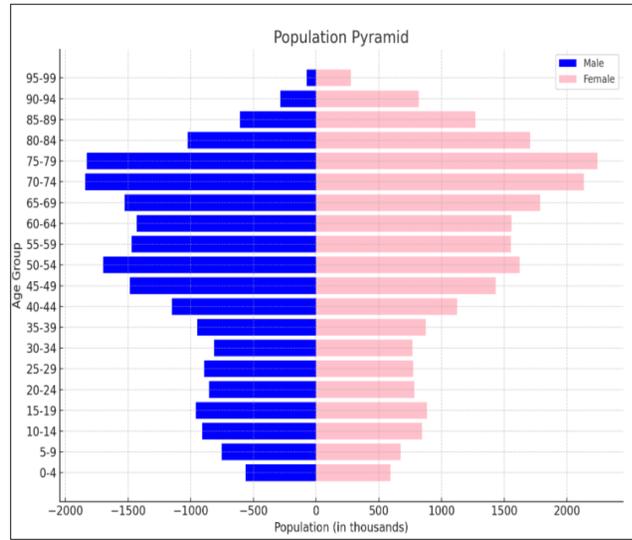
1 課題設定の理由

(1) 少子高齢化 (2024-2040)

高齢化 41.1%→47.2%
 少子化 6,207人→3,251人

(2) 商店街空き店舗増加

→地域住民の利用減
 →観光地としての認知度低



2024宇和島市人口動態
 宇和島市HPデータより作成

2 現状分析・調査

商店街の人流

→平日：人はまばら
高齢者が多く通行
通院・買い物
(フジ等)

イベント時は大きく変容

	恵比寿町	袋町		袋町
若年層	5	14	14:00-14:05	418
中年層	14	26	14:15-14:20	375
高齢層	57	45	14:30-14:35	391
合計	76	83		

【現地調査】11/14(木)15:00-16:00

【現地調査】11/17(日)「食-1うわじまの鯛食べたいフェスティバル」

【事例】新潟県三条市 ノノ木戸商店街
 商店街内の施設をワーキングスペースに
 →カフェ
 議や勉強に使えるフリースペース
 →Wi-Fiやコンセントを完備

地域住民が集う商店街→町全体の活性化



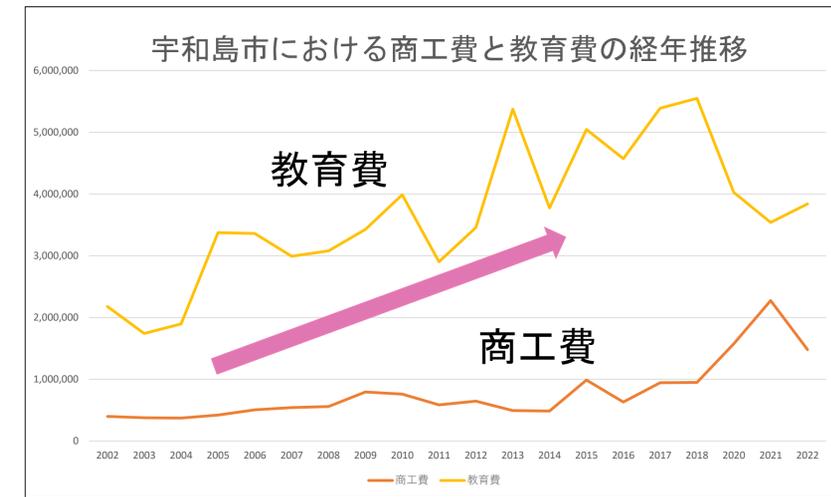
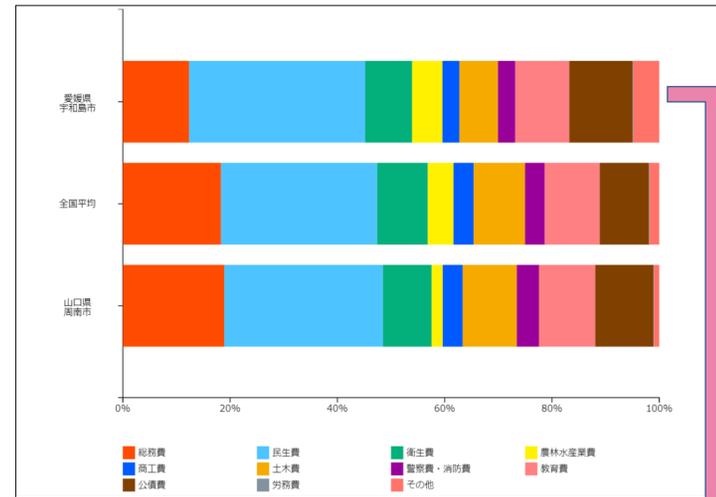
高齢者

日中の居場所としての商店街
 生活・交流・バスやJR待ち時間

学生

放課後の居場所としての商店街
 学習・交流・バスやJR待ち時間

宇和島東生
 宇和島南生



子供の人口は激減しているが宇和島市は子供1人当たりの教育費を増加させている
 →教育の充実→町の活性化

3 仮説

自動販売機の設置→交流スペースに設置
 住民：軽食やお菓子、栄養補助食品
 観光客：お土産（宇和島の特産品）の自動販売機

4 研究方法・今後の取組

商店街での学習スペース・交流スペースの実験的開設と実現可能性の検証
 自動販売機の設置場所や取扱商品（ターゲット）の調査